

第77期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

Contents

- P 1 株主の皆様へ
- P 3 連結財務諸表
- P 5 会社の概要
- P 6 株式の状況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社の第77期上半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止策の効果や行動制限緩和により、欧米先進国を中心に経済活動の正常化が進展し景気は持ち直しつつあります。一方で、中国のコロナ対応による広範囲な行動制限発動、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、世界的な物資やエネルギーの価格高騰・供給不足、労働需給のひっ迫などを背景としたインフレ圧力が顕在化し、先行きは不透明な状況が続いております。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン事業におきましては、ロシア・ウクライナ情勢などに起因するインフレの影響により、世界的なアパレル需要は伸びなやみ、また、コロナ禍以降旺盛であった縫製産業の設備投資需要にも一部落ち着きが見られました。オートモーティブ事業（前ダイカスト部品事業）におきましては、原材料価格の高騰や部品不足に起因する自動車の減産影響は引き続きございましたが、生産性の安定をはかりつつ、消費地近隣での調達需要に対応することにより、業績は堅調に推移いたしました。

このような環境のもとで、当上半期の売上高は133億49百万円（前年同期比39.5%増）、営業利益は19億5百万円（前年同期比166.2%増）、経常利益は24億51百万円（前年同期比249.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は17億40百万円（前年同期比269.6%増）となりました。

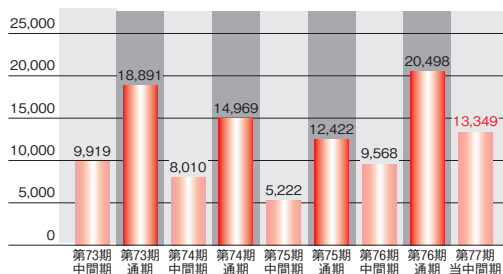
株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

代表取締役社長執行役員 美馬成望

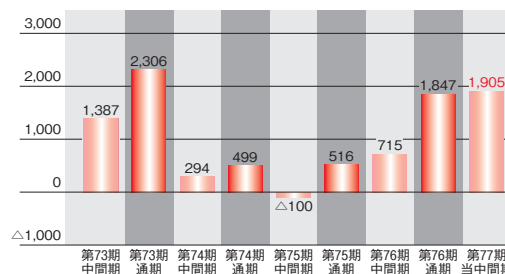
■売上高の推移

（単位：百万円）



■営業利益の推移

（単位：百万円）

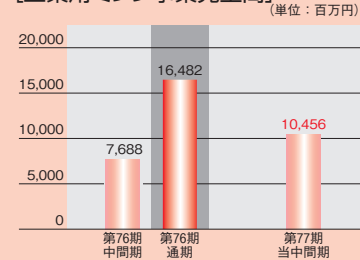


セグメント別の概況

工業用ミシン

工業用ミシン事業につきましては、世界的なアパレル需要には落ち着きが見られるものの、南アジアや米州での設備投資が堅調に推移したことなどから、売上高は104億56百万円（前年同期比36.0%増）、セグメント利益は23億35百万円（前年同期比105.8%増）となりました。

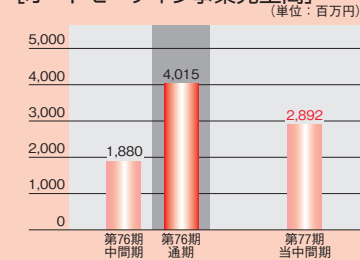
【工業用ミシン事業売上高】



オートモーティブ

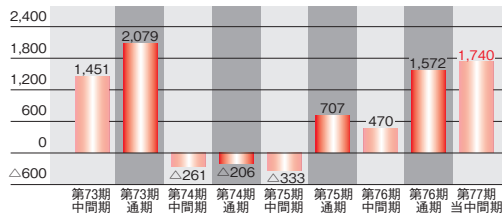
オートモーティブ事業につきましては、新規立ち上げ部品に対する投資効果や、生産性の安定による収益力の向上を進め、売上高は28億92百万円（前年同期比53.8%増）、セグメント利益は1億83百万円（前年同期比61.5%増）となりました。

【オートモーティブ事業売上高】



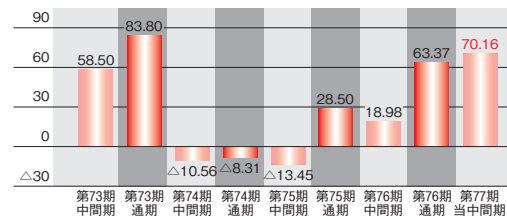
■ 純損益の推移

(単位：百万円)



■ 1株当たり純損益の推移

(単位：円)



[中間連結貸借対照表]

(単位：千円)

科目	前年通期 (2022年3月31日現在)	当中間期 (2022年9月30日現在)	科目	前年通期 (2022年3月31日現在)	当中間期 (2022年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	25,472,287	28,738,605	流動負債	6,700,511	6,687,331
現金及び預金	9,773,167	10,208,755	支払手形及び買掛金	2,396,454	1,199,848
受取手形及び売掛金	5,676,044	7,099,423	短期借入金	2,620,705	3,236,225
商品及び製品	4,675,908	5,131,692	未払法人税等	206,741	677,744
仕掛品	1,063,678	1,166,811	賞与引当金	163,041	154,249
原材料及び貯蔵品	3,787,567	4,500,638	その他	1,313,567	1,419,263
その他	531,472	671,168	固定負債	3,066,028	2,875,748
貸倒引当金	△ 35,551	△ 39,882	長期借入金	1,556,909	1,387,891
固定資産	9,661,215	10,950,318	退職給付に係る負債	509,426	524,295
有形固定資産	8,512,689	9,654,653	その他	999,692	963,561
無形固定資産	535,822	609,618	負債合計	9,766,540	9,563,079
投資その他の資産	612,702	686,046	(純資産の部)		
			株主資本	22,167,680	23,585,757
			資本金	2,255,553	2,255,553
			資本剰余金	2,988,857	2,988,857
			利益剰余金	16,928,634	18,346,711
			自己株式	△ 5,365	△ 5,365
			その他の包括利益累計額	2,431,893	5,614,632
			その他有価証券評価差額金	12,455	10,362
			為替換算調整勘定	2,353,722	5,538,704
			退職給付に係る調整累計額	65,715	65,565
			非支配株主持分	767,388	925,455
			純資産合計	25,366,962	30,125,845
資産合計	35,133,503	39,688,924	負債・純資産合計	35,133,503	39,688,924

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT①** 流動資産は、前年通期に比べて32億66百万円増加し、287億38百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が14億23百万円、原材料及び貯蔵品が7億13百万円、商品及び製品が4億55百万円、現金及び預金が4億35百万円それぞれ増加したことなどによります。
固定資産は、前年通期に比べて12億89百万円増加し、109億50百万円となりました。これは、有形固定資産が11億41百万円増加したことなどによります。
この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて45億55百万円増加し、396億88百万円となりました。
- POINT②** 流動負債は、前年通期に比べて13百万円減少し、66億87百万円となりました。これは、短期借入金が6億15百万円増加し、支払手形及び買掛金が11億96百万円減少したことなどによります。
固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億90百万円減少し、28億75百万円となりました。これは、長期借入金が1億69百万円減少したことなどによります。
この結果、負債合計は前年通期に比べて2億3百万円減少し、95億63百万円となりました。
- POINT③** 純資産は、前年通期に比べて47億58百万円増加し、301億25百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が31億84百万円、利益剰余金が14億18百万円それぞれ増加したことなどによります。

[中間連結損益計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	9,568,827	13,349,264
売上原価	6,594,174	8,651,651
売上総利益	2,974,653	4,697,612
販売費及び一般管理費	2,258,958	2,792,093
営業利益	715,694	1,905,519
営業外収益	58,926	603,526
営業外費用	72,524	57,222
経常利益	702,095	2,451,823
特別利益	6,790	771
特別損失	17,757	184
税金等調整前中間純利益	691,128	2,452,411
法人税、住民税及び事業税	184,889	752,277
法人税等調整額	5,128	△ 76,013
中間純利益	501,111	1,776,146
非支配株主に帰属する中間純利益	30,112	35,532
親会社株主に帰属する中間純利益	470,998	1,740,614

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

[中間連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,267,414	32,139
POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 127,858	△ 736,091
POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 184,921	△ 410,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	310,046	1,276,381
現金及び現金同等物の増減額	1,264,681	162,030
現金及び現金同等物の期首残高	8,273,911	9,733,160
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,538,593	9,895,191

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益24億52百万円、減価償却費4億52百万円に対し、仕入債務の減少19億80百万円、売上債権の増加3億54百万円、法人税等の支払額3億44百万円などにより、32百万円の収入となりました。

POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5億1百万円、定期預金の預入による支出2億94百万円に対し、定期預金の払戻による収入40百万円などにより、7億36百万円の支出となりました。

POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額3億22百万円、長期借入金の返済による支出1億72百万円に対し、短期借入金の純増加額2億円などにより、4億10百万円の支出となりました。

創	業	1914年1月
設	立	1947年1月8日
資	本	22億5,555万円
従	業	197名（従業員数には、臨時従業員（パートタイマー、顧問及び派遣社員）及び他社への出向者は含まれておりません。）
U	R	L
		https://www.pegasus.co.jp

役員及び執行役員の状況（2022年9月30日現在）

代表取締役社長執行役員	美 馬 成 望	監査役（社外）	杉 山 清 和
専務取締役執行役員	高 孟 昊	監査役（社外）	武 本 夕 香 子
専務取締役執行役員	中 村 淳 一	上席執行役員	ブローアー ムルヴェイン
常務取締役執行役員	岡 田 義 秀	上席執行役員	かね 子 貴 司
取締役執行役員	美 馬 正 道	上席執行役員	ほら 原 口 岳 じ
取締役（社外）	お 大 西 宏 尚	執行役員	お 岡 本 裕 之
取締役（社外）	小 高 得 央	執行役員	佐 藤 文 泰
取締役（社外）	田 中 知 加	執行役員	たか 高 田 隆
監査役（常勤）	吉 田 泰 三	執行役員	みや 川 ひろし 洋



国際パレル機器 & 繊維産業見本市

JIAM2022OSAKAは、世界有数の縫製機器見本市の一つであり、国内外メーカーの最先端技術、製品、サービスソリューションが一堂に集結します。

《JIAM 2022 OSAKA 出展概要》

- 会期：2022年11月30日（水）～12月3日（土）
- 会場：インテックス大阪 6号館 B
- ベガサースプース：H010

軽やかに
ともに進んでいく



株式の状況（2022年9月30日現在）

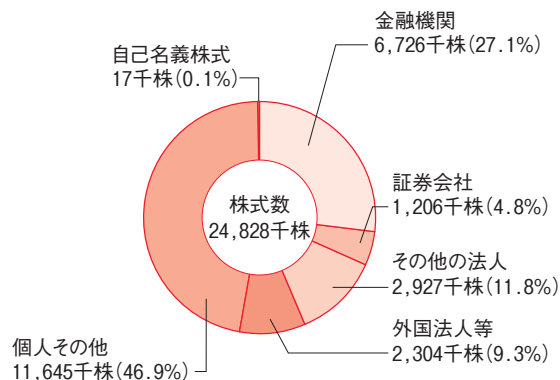
発行可能株式総数 76,928,000株
 発行済株式の総数 24,810,624株（自己株式17,976株を除く。）
 株主の総数 7,217名

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,695千株	10.86%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,551千株	10.28%
株式会社美馬	1,553千株	6.26%
株式会社三井住友銀行	830千株	3.35%
板東 敬三	741千株	2.99%
吉田 隆子	709千株	2.86%
美馬 成望	630千株	2.54%
J Pモルガン証券株式会社	490千株	1.98%
美馬 正道	474千株	1.91%
田村 真子	370千株	1.49%

注1 千株未満は切捨てて表示しております。
 2 当社は、自己株式17,976株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

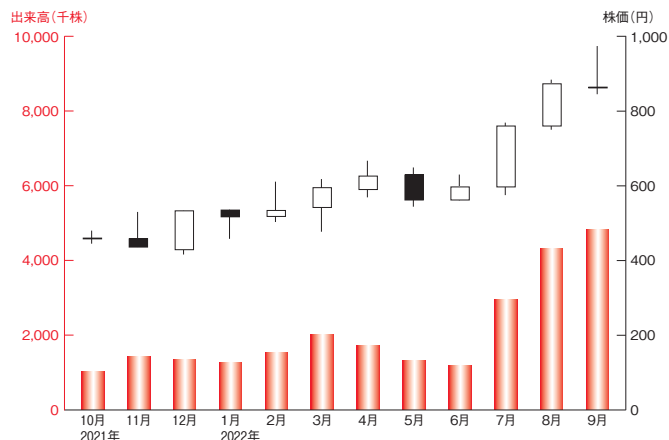
株式分布状況（2022年9月30日現在）

●所有者別 株式保有割合



※株主諸統計表を参考に作成しています。千株未満は切捨てて表示しております。

株価推移表



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 受付時間 9:00-17:00(土日休日を除く)
(電話照会先)	
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (https://www.pegasus.co.jp) ※ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

ご確認ください

【中間配当決議ハガキ郵送廃止のお知らせ】

当社では、来年度より「中間配当に関するお知らせ」ハガキの郵送を廃止することといたしました。今後は、当社WEBサイト「IR情報」内「IRライブラリ」に掲載しております (<https://www.pegasus.co.jp/ja/ir/library>)、「第2四半期決算短信」の1枚目の「配当の状況」にて、ご確認をお願い申し上げます。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

WEBサイトのご案内

<https://www.pegasus.co.jp>

会社案内を始めとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

QRコードはこちらです。→



株主の皆様へお知らせ

●商号変更のお知らせ

ペガサスミシン製造株式会社は、来年2023年4月1日より、当社商号を「ペガサスミシン製造株式会社」から「株式会社PEGASUS」へ変更いたします。

当社は1914年に創業以来、工業用ミシン事業を専業として従事してまいりましたが、2007年より自動車用部品を始めとするオートモーティブ事業にも参入し、現在では連結子会社を4社展開するまでに拡大し、当社事業の第2の柱として、さらなる発展を目指しております。

また、世界各国のお客様と事業展開をしている当社にとって、国内外の縫製業界ではすでに浸透している「PEGASUS」ブランドを商号にすることにより、さらなるブランドの浸透力ならびに信用力を高めるべく、今回の商号変更へ至りました。

●株主優待制度の一部変更に関するお知らせ

ペガサスミシン製造株式会社は、2022年2月28日に公表いたしましたとおり、長期保有株主様の日頃のご支援にお応えし、また新たな株主様からも長期的にご支援いただくために、株主優待内容を変更することといたしました。

変更内容といたしましては、2023年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より、1年以上継続して当社株式を3,000株以上保有されている株主様（以下、「長期保有株主様」）を対象に、4,000円相当のカタログギフトを、500株以上保有されている株主様には2,000円相当のカタログギフトをお送りさせていただくものでございます。

なお、長期保有株主様とは、3月末日及び9月末日の株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して記載または記録され、かつ、いずれの時期においても3,000株以上保有された株主様といたします。

本件の詳細は、当社WEBサイトまたは右側QRコードにてご確認くださいませので、そちらも合わせてご覧ください。



今後も皆様のお役に立てるような製品の開発やソリューションのご提案に努めてまいりますので、倍旧のお引き立てを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。